

令和3年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

| No. | 予算科目 | 事業名 |
|-----|--------|------------|
| 1 | 6款1項7目 | 仁田山放牧事業運営費 |

1 項目別評価

| 評価項目 | 評価点 | 意見等 |
|--|-----|--|
| 1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か | 13 | 町内畜産業の観点から必要性はある。 |
| 2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か | 13 | 放牧頭数から考えると公共放牧場の運営としての費用対効果は低い。この観点から町（公共）で運営していくべき必要性はあるが、今後、民間委託も考える必要がある。 |
| 3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か | 10 | 費用対効果から、効率性はどちらかと言えば低い。効率的な運営を行うための検討や努力が必要である。 |
| 4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか | 12 | 放牧することによって畜産業者の経費削減に寄与している。 |

2 全体評価

| 評価 | 評価基準 | 合計評価点 |
|----|--------------------|-------|
| 4 | 1 きわめて良好である 100点 | 48 |
| | 2 良好である 75～99点 | |
| | 3 おおむね適正である 50～74点 | |
| | ④ 問題がある 25～49点 | |
| | 5 かなり問題がある 1～24点 | |
| | 6 不適正である 0点 | |

3 今後の方向性

| 評価 | 評価基準 | 判定理由 |
|----|--------------|---|
| 4 | 1 拡充する | 放牧頭数の増加が望まれるが、それを管理する人が足りない状況にある。増員すれば経費も増えるという苦しいジレンマを抱える。関係市町に負担を依頼する方法も考えられるが、どの市町も放牧頭数が減ってきており、それもまた難しい。頭数の見直しや牧草の改善をしないかぎり縮小すべきである。これまで仁田山放牧場に一体いくらの費用がかかってきたのか、費用対効果を表す意味で明らかにすることも大事である。 |
| | 2 現状のまま維持する | |
| | 3 改善し継続する | |
| | ④ 見直しのうえ縮小する | |
| | 5 期間設定し終了 | |
| | 6 廃止する | |

4 評価に係る意見等

| 事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等 |
|--|
| <p>今後は、投資をいかに減らして、採算に合う頭数を確保するにかかっている。30頭では、この施設のキャパシティからは少ないものとするが、それに見合う人員も確保しなければならず、なかなか難しい状況にある。事業を継続するため、民間業者に委託するなど、必要とする関係市町も含め、運営について考慮する必要がある。</p> |